

四万十川リバーサイドフルウォーク2018

平成30年4月7日(土)・8日(日)の2日間、四万十川の春を楽しむ第29回四万十川リバーサイドフルウォーク2018を開催しました。

今年は、1日目の下流コースに194人、2日目の上流コースに139人の方が参加し、延べ13都府県から335人の方が、春の四万十川沿いを歩いて楽しんでいただきました。

1日目は、北西の風が強く、曇り空のためなかなか気温が上がりませんでしたが、雄大な四万十川河口や太平洋を望むコースを楽しんでいました。

2日目も、気温は上がりませんでしたが、天気が良く暖かな1日となり、山菜をいっぱい摘んで帰ってきた参加者もいました。

1日目:下流コース

下流コースは、10km、16km、29kmの3コースがあり、雄大な四万十川河口や太平洋を身近に感じてもらえるコースになっています。



四万十市では、毎年4月10日を「四万十の日」と定め、数々のイベントを開催しており、その中の一つとして、毎年フルウォークを開催しています。

四万十川フルウォーク実行委員会では、参加料の一部を清流保全に役立ててもらうために、四万十川清流保全基金に寄付をしています。

今年は、神奈川県から参加してくれた山田さんご夫婦から、参加者を代表して寄付金目録の贈呈がありました。



スタートする参加者をスタッフも声をかけて見送りました。

参加者も声援を受けて少し照れくさそうに、手を振って元気に出発しました。



後川沿いの堤防中段を四万十川との合流点目指して歩いています。

普段はめったに歩かないコースとなります。



四万十川記念公園下のチェックポイントまでもう少しです。
愛媛県から参加した9歳の男のは、20km以上歩いているのに、元気いっぱいです。



ゴールまで残り約2kmの天神橋アーケードで、地元の商店街振興組合が参加者のおもてなしをしてくれている接待所です。
コーヒーやお茶菓子を振る舞ってくれるので、参加者も喜んでます。



10kmコースのチェックポイントになる不破八幡宮では、チェックが終わった参加者がお参りをしてゴールを目指します。
今日は、結婚式の前撮りが行われていたようで、参加者も良い思い出ができたのではないのでしょうか。



今年のフルウォーク参加者の中で最年少になる4歳の女の子も、お母さんと10kmを見事に完歩しました。
ゴール近くになって、風で帽子が飛ばされ田んぼに落ちたとのことで、スタッフが回収に行って、無事に女の子に手渡しました。

2日目:上流コース

上流コースには、17km、23km、30kmのコースがあり、新緑がまぶしい山あいの風景や沈下橋を渡り楽しんでいました。



スタート前の準備体操は、四万十市スポーツ推進委員が担当しています。
2日目は、顔にクリームを塗って笑うという準備運動から入り、参加者全員大笑いをして和んでいました。



佐田沈下橋で記念写真。
23kmコースに参加した愛媛県からグループの方です。
仲良くみんな一緒にゴールしてゴールアーチの前でも記念撮影していました。



3月に入って暑い日が続き、桜も早くから咲き乱れ、花はほとんど散ってしまったので、参加者は新緑の中を歩きました。



ゴールまで残り1.7kmの一条神社でのチェックポイントで、笑顔で記念撮影をする宿毛市から参加の4人組です。



ゴールまであとわずかですが、よく見ると、デイバッグの中から、立派なイタドリが飛び出しています。
地元の参加者の方ですが、今晚の食卓にあがるのでしょうか。



ゴールした参加者の中には、小さいお子さんもいました。
みんな良くがんばって完歩しました。



ゴール後には、特性お味噌汁と温かいお茶を振る舞っていますので、みなさんおいしそうに食べています。
疲れた体をゆっくり休めていました。



今年のベストショットです。
岡山から参加の二人組です。
29kmをゆっくりと歩いてゴールを目指し、天神橋アーケードを彩るフラフが泳ぐ中での記念撮影です。
疲れを見せない笑顔が素敵です。



今年のベストショットです。
四万十桜つつみ公園の桜をバックに記念撮影しています。コース上で唯一桜をバックに記念撮影できるポイントを見つけました。